

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	杉山
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3314
<b>事務事業名</b>	12554 生活困窮者自立支援事業											
<b>所 属</b>	100100 健康福祉部・福祉課											
<b>施 策</b>	11020600 生活困窮者への支援											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費										
	<b>事業</b>	090000 生活困窮者自立支援事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
生活困窮者の自立を支援するため、適切な相談業務等を行う。						法律に基づき要支援者の自立に向けた支援を行う。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 予定</b>
新規相談件数 3件/月 プラン作成件数 1件/月 就労支援対象者数 2件/月 (厚労省目安値)	新規相談件数 8件/月 プラン作成件数 3件/月 就労支援対象者数 2件/月 (厚労省目安値)
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	新規相談受付件数（1ヵ月当たり）						
算式	人口10万人で1ヵ月当たり16件、須坂市は人口5万人として、 $16/2=8$ 件					単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由	国が示す目安値を使用。						
最終年度目標の根拠	平成27年度を現行値（10件）として、毎年1件の増を目標とする。						
指標名	相談支援により就労につながった数（年間）						
算式	就労支援対象者数					単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由	国の示す目安値を参考に、平成27年度の実績（3件）から推計。						
最終年度目標の根拠	平成28年度目標値を6件とし、毎年1件の増加を目標とする。						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

（単位：千円）

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		18,123	24,095
特定 財源	国庫支出金	11,409	11,420
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		6,714	12,675
人員数 (人)	正規職員	0.8	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	5,574.4	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,574.4	0.0
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		23,697.4	24,095.0

（単位：千円）

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	14,735	委託料（自立相談支援事業 13,975、家計相談支援事業 224、こどもの生活・学習支援事業536）
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,650	県施行就労準備支援事業負担金 1,650
その他	1,738	扶助費（住居確保給付金）1,107、償還金631

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	21,295	委託料（自立相談支援事業 18,696、就労準備支援事業等 1,523、学習支援事業 1,076）
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,800	負担金（県共同実施就労準備支援事業）
その他	1,000	扶助費（住居確保給付金）

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	新型コロナウイルス感染症の影響により生活困窮者への迅速な対応・支援が必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	適切な対応・支援により、生活困窮者の自立が図られる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	生活に困窮される方は複合的に困りごとがあるケースが多く、関係機関と連携した支援の提供が必要である。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困窮されるかたの実情を適切に把握し、関係機関等と連携した包括的な支援が必要となった。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
新型コロナウイルス感染症に関して国の制度が新設、変更があ。漏れのないサービスに繋げる。さらにまいさぼ須坂等関係機関と連携した対応が必要である。		相談窓口や利用できる制度の周知と関係機関との連携強化を進める	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	